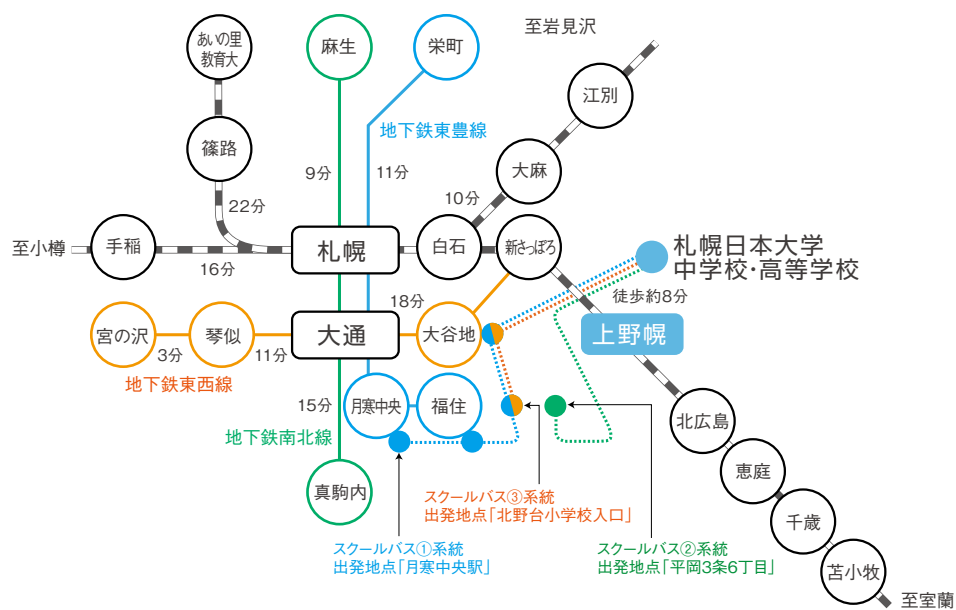


世界に貢献する人を――――。



主要駅からの通学時間（上野幌駅からの徒歩含む）

JR	地下鉄
小樽駅……………約90分	麻生駅……………約35分
手稲駅……………約50分	真駒内駅……………約45分
江別駅……………約40分	宮の沢駅……………約50分
千歳駅……………約35分	栄町駅……………約40分
苫小牧駅……………約60分	福住駅……………約45分
あいの里教育大駅……………約60分	大通駅……………約30分

お問い合わせ

札幌日本大学中学校・高等学校

〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1
TEL.011-375-5311 FAX.011-375-2646

札幌日大中学校

検索

札幌日本大学中学校・高等学校のホームページ上で教育活動の様子をご覧いただけます。
本校のホームページには、入試情報や学校説明会の案内など、最新の情報が掲載されています。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://www.sapporonichidai.ed.jp>

お問い合わせ・資料請求 ☞ nic_snuh@sapporonichidai.ed.jp



学校法人 札幌日本大学学園 中高一貫教育コース

札幌日本大学中学校・高等学校

Sapporo Nihon University Junior and Senior High School

未来に必要とされる人材を送り出すために、
本校では、より質の高い高等教育の場として大学進学を目標とし、
それに向けた進学準備教育を使命と考えています。
しかし、本校の6年間での学びの価値はそれだけではありません。

人生においてよりよい選択と判断ができるよう、社会に出てからも常に学び続けられること。
他者との関わりの中から多様な価値観について理解し、柔軟な視点で物事を考えられること。
自分を大切にし、人を思いやる心を持ちながら協調できること。
社会という集団の一員として自ら動きかけ、よりよい行動を起こせること。

本校の教育は、単に学力の伸長を目指すだけでなく、
人としてバランスの取れた豊かな成長を目指しています。

価値ある 学びの環境で、 子どもたちの 豊かな成長を 応援したい。

ごあいさつ

新型コロナウイルスにより世の中の状況が一変しました。また、今年度は長年続いた大学入試センター試験に代わる共通テストの初年度で、ただでさえ大きな変化がある年でもあります。が、長期間の休校により、学習進度の遅れも深刻で混迷を深めている状況です。

その状況下、本校は一早くオンライン授業を全校的に導入する体制をとり、学校で学習することと同等の質を担保したりモータラーニングを確立しました。これにより、どんな状況になっても登校授業とオンライン授業を自由自在に切り替え、学力向上を図っていく体制が整いました。新型コロナウイルスにより世界全体が一変することなど誰も想像できなかったと思います。しかし予期せぬことが起きたときに、真の学校の力がわかるのではないのでしょうか。本校はICT教育を今年から本格的に導入しようと準備をしていた矢先にこのような事態になりました。それからたった2か月で、いち早く体制を構築できたのは、私立学校特有の機動力、俊敏性が生かされた形になりましたが、どんな時代でも工夫して前に進めていく気概が危機を乗り越えていく力になっていくのだと強く思います。

一方、やはり学校は一緒に集まって勉強し、部活動、行事、様々な活動をすることに大きな意味、意義があることもあらためて感じます。ICTやAIなどの発達によって様々なことが合理化されていく風潮がある一方、人間は生き物であり、感情もあるということをお忘れてはいけません。泣いたり笑ったり喜んだり怒ったりすることも相手がいないとできません。正にその人間を育てる場が、人が集う学校なのであると、今の状況になってあらためて学校の重要性を強く感じます。感染が終息したときは、人間の社会は今言われている新しい生活様式を取り入れつつも、基本的に元に戻り、日本の国際化もやはり進んでいくと考えています。アフターコロナは、本校の教育に関わる行事や部活動、SSH・SGL・MLP、異能vationネットワーク、国際バカロレア、国際交流等の活動を以前にも増して活発化させていきます。それまでは、例えば国際交流や行事の一部はオンラインを活用し、生徒の皆さんに様々な機会を提供すると同時に、学校も今までとは異なることにチャレンジして幅を広げていきたいと考えています。

世の中をうまく乗り切るための必要な資質の中で、最も必要だとされる「先を読む力」を磨いて、本校の人材育成像である「世界で貢献する人」づくりに邁進してまいります。世界全体を見据えるからこそ、国際感覚を養い、積極的に最先端教育を取り入れると同時に、日本の教育の良い面も継承し、「グローバルな日本人」として実力派の人材を育成することが本校の目標です。アフターコロナは学校の在り方が根底から変わる可能性があります。が、教育の本質を見極めた上で、今までにはない先進的でチャレンジングで刺激的な学校づくりに挑戦していきます。

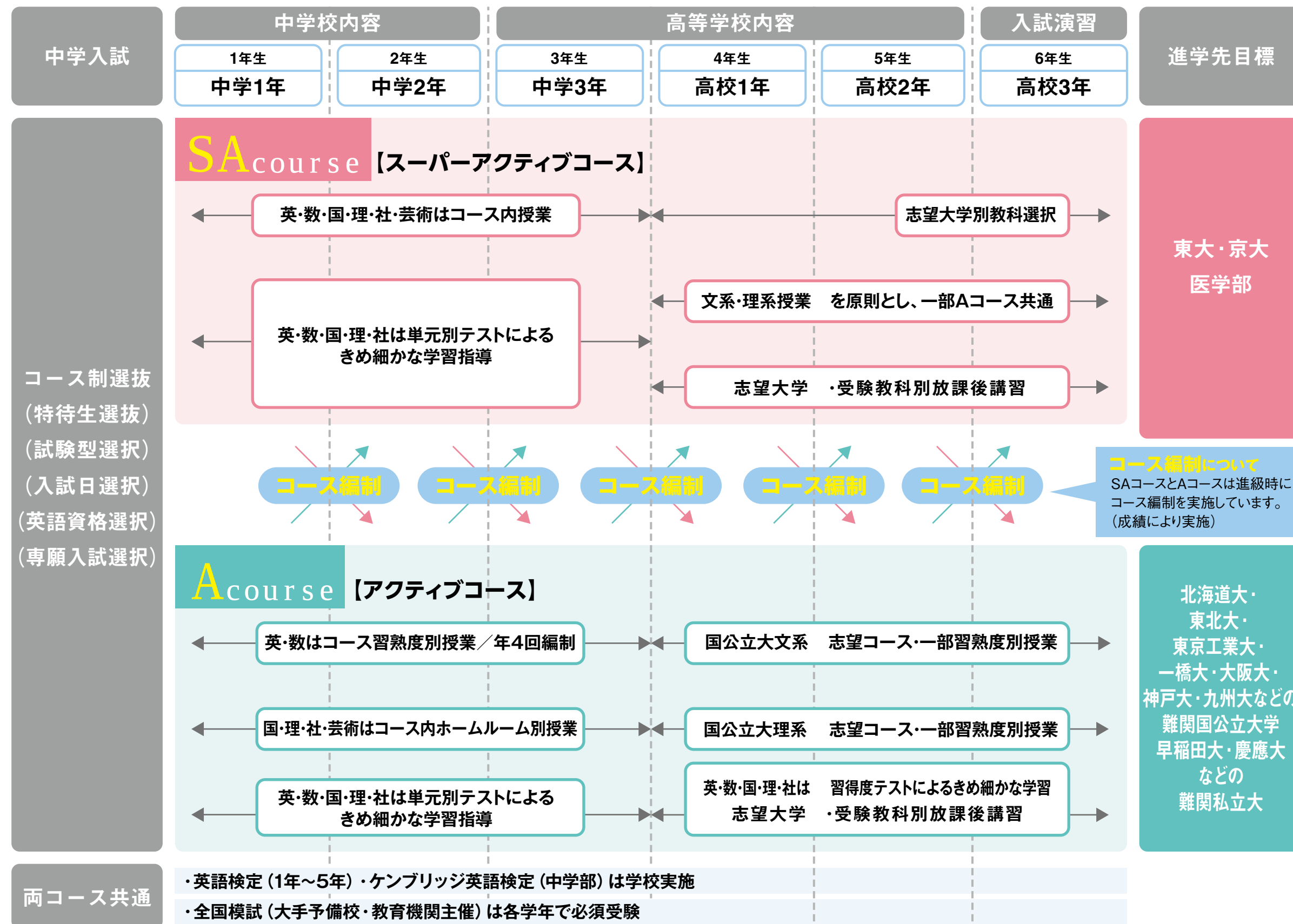
今、近未来そして20年先、
先を読む力と誠実さで
教育の本質に挑戦し続ける学校へ

学校法人 札幌日本大学学園 理事長
札幌日本大学中学校・高等学校 校長
浅利 剛之

Road to Success 6

札幌日本大学中高一貫コース(コース別募集は2021年度で5期目)

中高一貫コースは高校からの募集はありません。また、高校からの募集のコースとは別教育です。



「本物の正しい教育」で、
学力と人間力を兼ね備えた
世界に貢献する人へ。

本校は、人材育成方針を「世界に貢献する人」と定めています。世界全体を見据え国際感覚を養い、最先端教育にも触れ、日本の教育の良い面も継承する実力派の国際人材を育てるために、次の三つの観点から教育を組み立てています。

1. 国際理解、創造力・問題解決能力・発信力育成、バランスのとれた広い視野、ハイレベルな語学力等世界全体に目を向けたアプローチ
2. 高いレベルの文武両道、礼儀作法、精神力養成、集団の中での順応力、高い道徳性など昔からよいとされてきた日本特有の学校教育からのアプローチ
3. 学力養成、体力養成など人間としての基礎力を養うアプローチ

これらのバランスをとりながら、子供達の成長に必要な、そしてどう実践が有益かを見極め、一つ一つ真剣に精査し向き合う「本物の正しい教育」で、一つ一つ積み重ね「世界に貢献する人」の育成を目指していきます。



Course Introduction

大学入試制度に的確に対応した選抜コース編制と、中高一貫教育コースで輝く未来を勝ち取ります。

SA course 中高一貫 スーパーアクティブコース

東京大学、京都大学などの最難関大学、
医学部を目指す受験生を対象とした指導コース

コースの特色

- 1 難関の私立中学入試を突破した精鋭によるコース
- 2 東大・京大・医学部進学を目指す生徒の精鋭コース
- 3 卓越したハイレベルな教科指導のもと、ハイレベルの難関大学・学部の入試問題を突破するカリキュラム。夏休み・冬休みには特別講習によりさらに学力向上を目指します
- 4 東大・京大などで出題される論述対策、医学部で問われる小論文・面接対策にも対応
- 5 中高一貫教育のメリットを活かした多様なプログラムによる、思考力・課題発見解決力・表現力などを育成します



学習指導内容

【中学1・2年】
自分自身を見つめ、進路を決める上での自己理解を深めます。自らの力で予習に取り組み、授業後は復習の習慣を定着させ、学習の方向性を把握することで、学力を伸ばすと同時に学ぶ楽しさを知る期間です。習得した知識の活用を繰り返すことで、思考の枠を広げ、教養や学力が身につくことを実感することができます。

【中学3・高校1年】
将来の進路を定め、進路計画を主体的に立案します。高校課程は論理力をより高める期間です。大学入試では自分なりの意見を組み立てることが必要とされ、自分の持っている知識や意見を、相手にしっかりと伝えることが求められます。この2年間で学力を確実なものにします。特に、難関大学入試を見据えて教科指導のレベルが上がることから、より多くの学習時間の確保が必要となります。

【高校2・3年】
進路の実現に向け、細部にわたる計画を立て実行します。志望大学の受験へ向けて、本格的な準備に取りかかる時期です。入試対策として、試験問題を解く力を極限まで高めます。ただ問題を解くことを繰り返すだけでは解答作成能力は高まりません。今までに得た経験や知識、教養をいかに活用できるか、試行錯誤の積み重ねが大学入試を突破する力となります。



担当教員の声

スーパーアクティブコース生は、難関入試を突破し入学してきました。私立中学入試を上位成績で勝ち抜いてきた学習に対する心構えは、大変素晴らしいものです。そして、何より最後まで頑張りぬく忍耐力と自主性には目を見張るものがあります。また、クラス一体となった行動力、人の心を尊重しながら接するコミュニケーション力は、将来のリーダーとしての素養を十分に持たせたものだと思えます。コースの多くは医学部進学希望者ですが、東大・京大や難関の国公立大学を志望している生徒が日々競い合ったクラスです。家庭学習は毎日2～3時間の予習・復習となっています。

生徒の声

小学校5年生から札幌日大中のSAコースを第1志望にして学習塾に通っていました。SAコースを志望した理由は、少人数教育で最難関コースであることを学習塾の先生から聞き、学校説明会で体験授業を受けた先生の楽しい授業や、とてもわかりやすい教え方が自分にはあったこと、学習塾の先輩が活躍されている姿を見て共感を受けたことからでした。SAコースでは、周りの友人も医学部を志望する子が多く、クラス全体が活気に満ちています。勉強はもちろん、学校行事でもクラスの団結力は素晴らしく、毎日が大変有意義な学校生活を送っています。

A course 中高一貫 アクティブコース

北海道大学・東北大学進学などの難関国公立大学、
早稲田大学・慶應大学などの難関私立大学を目指す
受験生を対象としたコース

コースの特色

- 1 大学受験に求められる膨大な範囲を網羅した基礎力と、それを土台にした応用力を育成
- 2 英語・数学は習熟度別授業により、それぞれの個性を伸ばします
- 3 単元別学習により、きめ細かな学習指導を行ないます
- 4 夏休み・冬休みには特別講習によりさらに学力向上を目指します
- 5 中高一貫教育のメリットを活かした多様なプログラムによる、思考力・課題発見解決力・表現力などを育成します



学習指導内容

【中学1・2年】
自分自身を見つめ、進路を決める上での自己理解を深めます。予習・復習を計画的に取り組み、学習習慣を定着させ、学習の方向性を把握することで学力を伸ばすと同時に学ぶ楽しさを知る期間です。十分な復習時間により、習得した知識の活用を繰り返すことで思考の枠を広げ、教養や学力が身につくことを実感することができます。

【中学3・高校1年】
将来の進路を定め、進路計画を主体的に立案します。高校課程は論理力をより高める期間です。大学入試では自分なりの意見を組み立てることが必要とされ、自分の持っている知識や意見を、相手にしっかりと伝えることが求められます。この2年間で学力を確実なものにします。特に、高校教育課程に入ることから、より難易度がアップします。

【高校2・3年】
進路の実現に向け、細部にわたる計画を立て実行します。志望大学の受験へ向けて、本格的な準備に取りかかる時期です。入試対策として、試験問題を解く力を極限まで高めます。ただ問題を解くことを繰り返すだけでは解答作成能力は高まりません。今までに得た経験や知識、教養をいかに活用できるか、試行錯誤の積み重ねが大学入試を突破する力となります。



担当教員の声

アクティブコース生は、私立中学校入試に精通した学習を重ねて入学してきました。SAコースを第一志望にしながら、合否の結果でAコースに入学しましたが、その差は僅差でした。やや教科間のバランスが悪い生徒が多かったことは、Aコースの特色である英語・数学の習熟度授業により、進級時には挽回できる学力を備えています。SAコース生に見劣りしない、忍耐力、自主性、行動力や人の心を尊重しながら接するコミュニケーション力を兼ね備えています。コースの多くは北海道大学を志望しています。学習は、家庭学習が毎日2時間程度となりますが、予習・復習の重要性を良く理解して頑張っています。

生徒の声

アクティブコースの特徴である英語と数学の習熟度クラスが自分にあっていてと思い、札幌日大中のアクティブコースに入学しました。受験では、札幌日大中の他3つの中学に合格しましたが、少人数教育で勉強においてとても面倒見が良いと学習塾の先生から推薦をされ札幌日大中に入学しました。入学して思ったことは、先生方から大変親切に勉強を教えてもらえることです。わからない箇所は授業後や早朝でも個別に教えてもらえます。また、課題研究でタブレットを活用したり、研修旅行でインタビューしたり、とても楽しく過ごすことができます。勉強以外のたくさんの行事活動も大変満足しています。

Distinctive Learning

本校の教科教育は、6年後の大学入試を見据えた内容を基本に、
本校オリジナルの特色ある教育を実践しています。

Leading in Higher Education

様々な受験情報の提供と親身な進学相談で、
受験へのモチベーションを高めながら大学進学を支援しています。

➤ 新大学入試対応教育／教科教育

英 語

英語力を確実に伸ばすサイクル学習

Reading (読む) → Listening (聴く) → Understanding (理解する) というサイクルをベースに、1年次は「文法」と「音声」を、2年次は「文法」と「ライティング」を、3年次は「文法」「ライティング」「リーディング」を中心に、それぞれの力の育成を重視しています。英語検定資格取得指導としてケンブリッジ英語検定・実用英語検定を必須で取り入れています。

ネイティブ教員によるTT「チーム・ティーチング」

ネイティブ教員による英語の授業は、ハイレベルで楽しい授業で、言語に関する高い興味関心が育ち、実力を伸ばします。タブレットを活用しながらの授業が1年生から受けられます。



数 学

問題解決の「プロセスそのもの」習得

「新しい知識を吸収するための方法」と「問題に直面したときにそれらを組み合わせて問題を解決する力」の育成を重視しています。生徒自身が持っている知識・技能を、「どのように組み合わせればその問題は解決できるのか」という「本質」を学ぶことに着眼点を置いています。

また、数学の学習を通じて他の教科の学力向上が図られるということを、子どもたちに意識してほしいと考えています。そのために、中学では「楽しみながら学ぶ」ことを重視しながら、学習定着のため授業後に再度問題を解く習慣を身に付けさせ、その定着度を小テスト・単元テストで確認していきます。

思考力を伸ばす課題解決型学習

数学的な思考力を意識した課題解決型の授業も取り入れ、1つの解き方に満足せず、他の解き方を考えることで多面的な物の見方や発想力を身につけます。また公式や解法をただ丸暗記するのではなく、その考え方や筋道を理解しながら問題を解くことで論理的な思考力を伸ばしています。

国 語

「国語力」は「言葉力」

私たちの目指す国語教育は、「言葉の力」をつけることによって人間としての成長を図るというものです。言葉の力には、伝達機能(外的言語)としてだけでなく、認識や思考、人間的成長に関わる働き(内的言語)があります。このことをとらえた「言語観」を持つことが、豊かな国語教育のために欠かせないものであると考えています。

こうした考えを基本として「読む・書く・聞く・話す」という日本語に関する技能や言語感覚をみがき、6年後の大学入試を見据えた国語能力の育成を目指しています。また、通常の黒板やプリント教材に加え、タブレットを活用し、生徒が主体的に学ぶ授業(アクティブ・ラーニング)を実施しています。その中で言葉への深い理解を育て、正しく豊かな言語能力を身につけます。

社会課題も取り入れた考える力の基礎を育成

社会課題を論文にまとめたり、物語についてディベートで討論する授業や、研修旅行でインタビュー取材などを通じた学習を取り入れ、これからの入試に必要な論理的思考力・表現力・創造力を身につけます。

理 科

実験を通して物事の本質を考える

「身近なものへの興味・関心を持つこと」・「疑問を持ち、考え、思考すること」を通じて、身の回りの現象を実際に実験してみることににより、「発見する力」を養っています。中学期間の実験回数は130タイトル。自分の目で確かめ、本物に触れ、物事の本質を考える力を育てています。

中学・高校の履修内容を効率的に先取りした高度な学習

中学の内容にとらわれず、高校で学ぶ内容を先取りし、より高度な学習をしています。そのことにより、高校での学習をよりスムーズにして、早い段階から将来を見据えた学習を進めることができます。



社 会

中学・高校の履修内容を豊富な知識を使って考える授業

社会科(地理、歴史、公民)3つの分野に高い興味、関心をもつことができる授業を行っています。背景や因果関係を追求する授業を通して、グローバルな視点で物事を考える力と、自分の意見を述べる発信力や表現力、他者の意見への理解力を養っています。

知識と考察力を深めるアクティブ・ラーニング

事実を暗記するのではなく、豊富な資料、図などのデータを読み取る力、新聞などの資料から時事的な観点を身につける授業を行っています。ディスカッションを通して自分の意見を述べるとともに、他者の意見を理解する力を養っています。



小論文

新入試制度論文対策

医学部入試、学校推薦型・総合型選抜入試など、多くの大学・学部で小論文入試が課されるようになりました。小論文作成の基本作法を再確認しながら、受講生一人一人の思考力・論理展開力・表現力などに更なる磨きをかけ、大学の出題の狙いに応じて優れた答案が作成できるように、実践的な指導をしていきます。優れた小論文を書くには、自ら課題を見つけ、考え、他者に理解できるように論理的に展開し、自分の言葉で表現することが重要です。小論文指導を通して養われる力が生徒の将来にもたらす効果も大きく、自己表現を通して他者と交流する中で、自己の価値観を育てています。



ガイダンス

01

大学入試ガイダンス(進学講演会)

大学の担当者をお招きして開催しています。ガイダンスの内容は、カリキュラム・授業内容／学部・学科、研究内容の特色／入試出題傾向／就職・大学院進学状況／留学ほか各種制度など。大学入試に必要な情報を得ることで、受験へのモチベーション向上を図っています。



02

キャリアガイダンス

様々な職業にお勤めの社会人の方、大学の先生方や諸外国の大使・領事等を講師にお迎えして、職業に関することや、社会(国際社会)ではどのような人材が求められるかなどについてアドバイスをいただき、大学での学びの選択へつなげていきます。



進学支援

01

全国模擬試験

大学入試で最も重要な情報は、全国模擬試験による情報です。本校では、全国模試は学校で必須模試として実施しています。その結果は生徒個々にフィードバックされ、大学進学へ向けての重要な資料となっています。



02

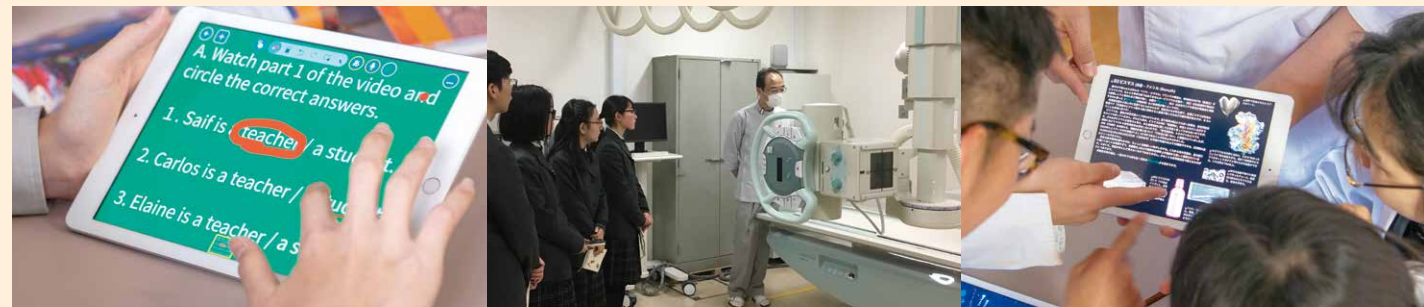
進路相談

担任教員、進路指導教員による生徒一人一人の志望大学の特徴を分析した進路相談や、全国模擬試験の成績分析から合格のための戦略を支援します。豊富な情報量、確かな分析力を構築し、合格までの支援を続けます。



Various Programs

生徒の興味・関心、学習プロフィールに応じた選択プログラムや
先端技術を効果的に活用したICT教育学習を積極的に取り入れています。



【SSH】 スーパーサイエンスハイスクール (高校1年より選択)

大学・研究機関との連携の下、知的好奇心の喚起及び醸成を図るとともに、科学的な疑問点の解決・実践に結びつけています。世界に通用する科学者や技術者としての素養を磨き、創造性・独創性及び科学的リテラシーを身につけ、地域社会及び世界に科学イノベーションで貢献できる人材の育成を目指します。また、日本にいながら世界を意識する実践的なコミュニケーション力と同時に、思考力や表現力、世界で活躍できる力を身につけることを目標とします。海外研修は、積極的に実施し、近年は国際会議、国際ボランティアなどへ参加を促しています。2020年度から、高大接続や広域連携、海外連携、地球規模の社会共創など、科学技術人材の育成に係るさらなる取組みを行う「科学技術人材育成重点校」に指定されています。



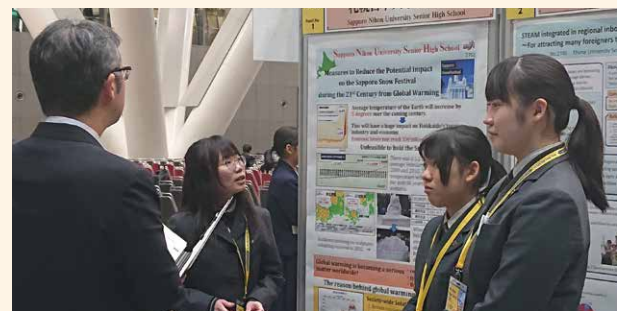
【MLP】 メディカルリーダー育成プログラム (高校1年より選択)

医療人には、幅広い教養を持った感性豊かな人間性、人間性への深い洞察力、社会ルールについての理解、論理的思考力、コミュニケーション能力、自己問題提起能力や自己問題解決能力などを持つことが求められています。多彩な学習経験、社会経験を有する者が相互に切磋琢磨する環境を作り上げの中で、協調性を持ちつつ人間理解に富んだ生徒を育てるプログラムを行ないます。社会課題研究者、医療従事者、医療関係者などを講師に招いたり、体験学習や海外研修などのフィールドで学びます。また、日本にいながら世界を意識する実践的なコミュニケーション力と同時に、思考力や表現力、世界で活躍できる力を身につけることを目標とします。海外研修は、国際交流部門と協力して実施し、近年は国際会議、国際ボランティアなどへ参加を促しています。



【SGL】 スーパーグローバルリベラルアーツ・プログラム (高校1年より選択)

現代社会に必要とされる知識は、文系・理系の枠組みにとらわれないものになっています。一つのテーマを複数の学問的視点から学ぶことや、一つの専門領域を深く学ぶための基盤となる複数の学問を学ぶことにより、その知識を身につけることができます。多様な知識を学び、自ら課題を見つけ出し、広い視野で物事を判断できる力を養うことで、現代社会に必要な人材を育てていくことを目的とします。また、日本にいながら世界を意識する実践的なコミュニケーション力、思考力や表現力、世界で活躍できる力を身につけることを目標とします。海外研修は、国際交流部門と協力して実施し、近年は国際会議、国際ボランティアなどへ参加を促しています。



【PBL】 課題研究プログラム(アクティブ・ラーニング)

PBL (Problem Based Learning)=[正解のない課題に挑戦する力]を養うことを主眼とし、主体的に問題を発見し答えを見いだしていく能動的学習である「アクティブ・ラーニング」に取り組んでいます。あらゆる教科の中でこの手法を取り入れていくことはもちろんですが、特に「探究」という授業の中で、地球規模で解決が必要な「グローバル・イシュー」をメインのテーマとし、グループワークやフィールドワークを取り入れながら、ディスカッションやディベート、研究発表、プレゼンテーションなどを行い、中学校から高等学校までの6年間を通して、体系的に学びを深めていきます。中学の3年間は、全員共通のテーマを課題とし、グループワークや体験学習の中でアクティブ・ラーニングの基礎となるディスカッションの仕方、レポートの書き方など、アウトプットの方法を学びます。



【ICT教育】 学びの先端技術活用教育プログラム

ICTを教育に取り入れて、現代社会に必要な情報の知識・技術を習得し、情報化社会で活躍できる人材を育成することが求められています。これまでの授業は、「教科書」と「教師」という2つのツールが主体となっていました。そこに「ICT」が加わることで指導できる範囲が広がり、より生徒に分かりやすい指導を実践することが可能です。本校では、映像・音声などの提示としてICTが活用されており、授業中にタブレットを使って生徒に情報を与えることで、教師の説明をより理解しやすくしたり、デジタルコンテンツを使った効率的な新しい授業展開のツールとなっています。ICTというツールを活用することで、教師の学習指導をより効果的にし、生徒の一層の学力向上を実現しています。



【異能vation】 異色多様な挑戦を地球の隅々まで発信するプログラム (希望者)

異能vationは、ICT分野において破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦を支援する総務省のプロジェクトです。既存の常識にとらわれない独創的な「変わった事を考え、実行する人(通称「へんな人」)」、「[なにもないゼロのところから、イチを生む]失敗を恐れぬ果敢な挑戦を支援するとともに、そうした人々が交流し、異能と異能が掛け合わさることで、さらなる独創的な発想が生まれるような環境を提供しています。本校は、2019年総務省より異能vationプログラムの指定校に認定され、独自性のある活動を行なっています。



【IB教育】 国際バカロレアプログラム候補校 (認可手続き中)

IB教育は、スイス・ジュネーブに本部を置く「国際バカロレア機構」が提供する国際的な教育プログラムです。多様な文化を理解・尊重する精神を通じて、より平和な世界の構築に貢献する。探究心や知識、思いやりに富んだ人材の育成を目的としています。国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、世界共通の大学入試資格とそれにつながる小・中・高校生のプログラムです。2019年3月現在、世界153以上の国・地域で約5,000校が国際バカロレア認定校となっています。本校は2020年国際バカロレアプログラム候補校に認定されました。グローバル化に対応できるスキルを身に付けた人材を育成する教育プログラムを充実させ、一年後、北海道の私立高校初の認定を目指しています。



【インターンシップ】 企業で実際に働くことができる「職業体験制度」 (高校1年より参加可)

インターンシップとは、大学生が一定期間職場で働く体験を行うことをいいますが、近年では、高校生が早期にインターンシップを経験し職業観を形成することによって、進路選択をしやすくすると同時に、社会人としてのマナーを体得することを通じて、目的意識を高め、常に積極的に行動する姿勢を育てます。また、国際ボランティア活動を通じて、医療現場の視察や医療活動をするほか、現地で活動しているスタッフや医師・看護師を目指す現地の医学生、患者さん、異なるバックグラウンドを持つ参加者と交流し、世界の医療の現状を知り、医療が届かない場所での課題を学びます。



International Exchange

さまざまな国や地域の多様な価値観にふれ、国際人としての資質を伸ばし、
世界に貢献するグローバル人材を育成するため、多様な活動を行っています。



▶ 姉妹校・連携校・協力校との国際交流 (オーストラリア、中国、韓国は姉妹校・連携校、ロシアは協力校と交流)

海外短期研修 (希望者)

人と人との交流を通じ、世界の生活文化への理解を深め、国際相互理解教育の推進と世界の平和に貢献することを目的とし、毎年多くの高校(オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、韓国など)と交流活動を実施しています。世界の多様性を肌で感じることができ、体験を学びに変えていくためのプロセスである海外高校との交流を通じて、グローバル社会で活躍できるグローバル人の素養を磨いてます。



留学支援 (希望者)

海外留学には「交換留学制度」「私費留学制度」があります。本校は、姉妹校締結しているオーストラリアでは交換留学制度を推奨しています。その他にも様々な団体で交換留学制度を設けて、その都度対応しています。私費留学制度を活用する場合は、希望の留学相談を行い、AFS JAPANなどの留学支援機関を推薦しています。



ケンブリッジ大学語学研修 (希望者)

イギリスの名門大学ケンブリッジ大学のキャンパスを中心に、ケンブリッジ市街も活用して実施される語学プログラムは、安全で楽しく、クオリティの高い英語レッスンに加えて、より確実に上達できるようにチュートリアル(個別レッスン)も行われます。語学の学習だけでなくアクティビティを楽しむための実戦的な英語の指導も授業内容に含まれ、英語学習、ソーシャルプログラムとも、とても充実した内容です。

日本大学が主催し全国の附属高校が参加して、春休み・夏休みに希望者を派遣しています。



海外からの中学・高校研修受け入れ交流活動

本校の国際交流活動は、在籍生が海外へ訪問するだけでなく、北海道を訪れる多くの海外学校を受け入れて交流活動を行なっています。活動の多くは、文化の違いをそれぞれで教えあったり、一緒に授業を受講したり、ホームスティも行なっています。例年、中国・韓国・台湾・タイ・オーストラリアからの受け入れがあり、他にもメキシコ・ロシア・ニュージーランドなど世界各国からの受け入れ実績があります。



▶ 民間企業・行政機関主催の国際交流

民間企業主催国際大会派遣活動

グローバルリンクシンガポール国際大会

アジア太平洋地域の中高校生国際課題研究発表コンテスト「グローバルリンクシンガポール」大会。研究発表を通じてグローバルに中高生がつながる中高生国際コンテストイベント「GlobalLink」。6つの国と地域(日本、シンガポール、ベトナム、タイ、香港、中国、フィリピンなど)から300名を超える中高生が科学と社会課題のアイデアコンテストや交流会、レクチャーを行います。本校は参加希望者を派遣しています。



民間企業主催国際交流活動

カンボジアの小学校で課外授業! 子ども達と学び合うプラン

カンボジアでは体育や音楽、美術といった情操教育や科学の授業が行われていない学校がほとんどです。このツアーでは、参加者同士で力を合わせて運動会や科学実験を行い、子ども達に感動とワクワクを届けます。未知なる体験をすることで、子ども達の未来の可能性を広げます。

特定非営利活動法人等の企画推奨

医療の届かないところに医療を届けること』を理念に活動している、国際医療ボランティア団体ジャパンハート等の企画への参加を推奨し、医療現場の視察や医療活動の見学をするほか、現地で活動しているスタッフや医師・看護師を目指す現地の医学生、患者さん、異なるバックグラウンドを持つ参加者と交流します。世界の医療の現状を知り、医療が届かない場所で失われていく「いのち」をひとつでも多くつなぎとめる活動に向かいます。



イオン1%クラブの事業参加

イオングループの主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、「次代を担う青少年の健全な育成」、「諸外国との友好親善の促進」、「地域社会の持続的発展」を3つの柱となる事業として活動されている高校生交流事業に本校は参加しています。この取り組みは、日本と海外の高校生が互いの国を訪問し、国際的な相互理解と親交を深めるプログラムで、文化や伝統、生活習慣の異なる同世代の若者たちが、「大使活動」、「交流活動」、「歴史・文化活動」を通じて交流しています。



行政機関主催国際交流活動

日本国際学生協会(ISA)派遣事業参加、日本台湾交流協会留学生受け入れ、アジア高校生架け橋プロジェクト(文部科学省助成)留学生受け入れ、自治体主催国際交流研修(北広島市/カナダ・千歳市/アメリカ等)、各財団主催国際交流研修(フィリピン、中国、アメリカなどに派遣)など多くの機関と連携し、多くの生徒の海外派遣を行なっています。



Event Activities

日常の学習や経験を総合的に発揮し、発展を図る教育活動を通じて、各教科等では容易に得られない体験から、創造的な発想力、主体的に課題を発見する力、チームワーク等を育成しています。



Field Work Trip

中学2年研修旅行(北海道ニセコ町)

2泊3日の研修旅行を通じて、他者と良好な人間関係を築けるようになるための社会的スキル(ソーシャルスキル)を育成します。訪問先はSDGs指定地域のニセコ町。ニセコ町では、グローバル化の実態調査や北海道の農水産業の体験とそれらの仕事に従事されている方へのインタビューなどを通じ、自分の意見を率直に表現する姿勢を育み、グループ活動を通じて協力しながら仲間と共に成長していく基礎を育みます。



中学3年研修旅行(広島・京都・奈良)

4泊5日で広島、京都、奈良への修学旅行です。広島では広島の中学生と「原爆について」や「北方領土について」、お互いの課題研究について意見交換し、原爆資料館、平和公園を訪ね平和教育を体験します。京都・奈良では、歴史、産業、文学などについて学ぶほか、京都では海外からの留学生と一緒に京都散策を行い、大阪英語村では米国の文化を学びます。5日間の集団生活の中で、集団の一員としての自覚を持ち、規律や秩序を守る態度も身につけます。

高校1年オーストラリア研修旅行

9泊10日間の日程でオーストラリア海外研修を実施します。姉妹校であるヘイルベリーカレッジ(メルボルン市内)、トゥーラックカレッジ(メルボルン近郊)を訪れ、文化交流を深めます。宿泊はホームスティ、ファームスティの2コースに分かれて活動します。また、シドニーではグループによる自主研修を行い、大学・歴史施設・観光施設などを訪問するほか、オーストラリアならではの豊かな自然の中でキャンプを体験し自然科学を学びます。



Cultural Training

中学部学園祭(桜虹祭)

クラス毎に劇・ダンス・課題研究などテーマを決めパフォーマンスを競います。クラスでは「脚本担当」「振り付け担当」「台本担当」「音楽担当」などの担当を決め、作品を完成させます。各クラスの団結力とアイデア、表現力、創作力などを競います。



高校部学園祭(桜虹祭)

2日間の日程で開催し、屋台やお化け屋敷などの催し物をクラス毎に出し物を完成します。また、有志による全体ステージでの発表には芸能関係者も参加して大いに盛り上がりします。

中学部アートフェスティバル

文化・芸術活動の発表の場として、アートフェスティバルを開催しています。合唱コンクールでは、歌唱のプロセスを通じてクラスが一体となった表現力や創造力を観客の前で披露します。個人活動ではバイオリン演奏、ピアノ演奏などの音楽部門や英語スピーチ、文化系クラブの成果などを発表します。



中学部伝統体験学習

伝統文化、伝統工芸、伝統芸術などを通じて、日本の文化を学んでいます。

百人一首学習

地域に根ざした文化、生活様式などを学ぶことを主眼として、北海道の「百人一首」を国語(古典)の授業を通じて学びます。地域の習慣・価値観を学びます。



皿回し体験(中学1年)

日本伝統芸能の一つである皿回しを、中学部開校以来続けて実施しています。伝統芸能を通じて日本古来の文化を学ぶだけでなく、練習を通じて粘り強さやあきらめない心を身につけます。



Sports Competition

中学部スポーツフェスティバル

バスケットボール・フットサル・ドッチボール・綱引きなどのスポーツ競技を、クラス対抗戦や学年を横断した赤組・白組・青組による対抗戦を開催しています。クラス毎、チーム毎のチームワークや学年横断の組み合わせによる先輩と後輩の絆を確認しています。



高校部スポーツフェスティバル

ソフトボール・サッカー・バレーボール・陸上競技のクラス対抗リレーの競技を、高校全体で実施します。高校校舎(高校から入学する生徒)と中高一貫校舎(中学から入学する生徒)が合同で実施する数少ない取り組みです。



Research Project Presentation

中学部課題研究発表会

中学部生徒が、1年間通じてSDGsに関わる内容を調べ考え、調査してきた成果を発表します。SDGsは、これからの地球に存在する課題について全体で共有し、今後のより良い生き方を考えることをテーマとしています。

【中学1年生】

SDGsの基礎教養について知識を深め理解し、これから生活していく中でどのように意識していくかを考え、SDGsの目標17項目の中で、興味のある項目に対し、日本・世界でどのような取り組みがされているのか調べます。そして、活動を通して考えたこと、わかったことについて個々人でまとめ、ポスター発表を行っています。

【中学2年生】

同じSDGsのテーマでグループを組み、ある都市(地域)について調べ学習を行ない、その成果についてシェアリングやディスカッションを通じて内容を深めます。ニセコ研修旅行での実地調査に向けて事前学習を行ない、どのような問題があるのか仮説を立て、活動を通して、ある都市(地域)とニセコにおける問題点・解決するための取り組みをまとめた内容について、グループごとにプレゼンテーションで発表します。

【中学3年生】

中学2年生の中間発表での、聴衆から質問とアドバイスより、さらに個人の課題研究内容について深めます。社会問題に対する解決策のアイデアを考え、実現させるための方法と解決策の利点・欠点を立案し、アイデアに対する分析・検討を行ない、そのまとめをプレゼンテーションで発表します。



School Life

本校で過ごす6年間は、子どもから大人へと成長するためのかけがえのない時間。
仲間と一緒に笑ったり、楽しんだり。
ときには自分自身を見つめることも大切です。
そんな毎日が、人間としての大きな成長につながります。



Morning reading

自分の好きな本を選んで
10分間の読書。
心を落ち着けてスムーズな
一日をスタートする。



Learning

50分の真剣勝負がはじまる。
今日は、予習もバッチリなので、自信满满！



Lunch break

昼食後の楽しいひとときは
仲間とワイワイ、ガヤガヤ。
いつもは校庭で遊ぶけど、
今日は図書館へ。



中学2年 相澤 祐花さん

先生は、優しく親しみやすい先生ばかりです。授業でわからなかったことは理解できるまで丁寧に教えてくれたり、個人で使用する棚の正しい使い方のアドバイスをくれたり、学習面と生活面の両面から私たちを支えてくれています。授業では、一方的に話を進めるのではなく、私たち生徒と一緒に進めていくので、勉強が楽しく、時間があっという間に過ぎていきます。豆知識や体験談なども面白く、授業に飽きることがありません。

親しみやすい先生たち



週2日のクラブの日。
中体連が近いので、真剣に、
気合を入れて頑張ろう。



Club activities

15:45
(6時間授業日)
16:45
(7時間授業日)
※クラブ活動



Going home from school



18:00
下校

13:25
授業



Learning

午後の授業。
昼食後でちょっぴり眠いけど、集中して取り組もう。



Lunch

普段はお弁当だけど、
今日は学食の
日替わりランチに。
オムライス、ボリュームが
あっておいしそう。



Home room

担任の先生から今日の予定を確認。
目的意識をしっかりとった
一日を送ろう。



8:35
HR

8:50
授業

8:25
朝読書

8:00
登校



Go to school

JR上野幌駅から徒歩約8分。
今日も元気な声が飛び交う。
スクールバスなら、
学校まで快適な通学ができる。



Club Activities

本校のクラブ活動は、週2～3回。

短い時間の中でも「量より質」を重視し、工夫を凝らした活動を行っています。

中学校のクラブ活動加入率は80%以上で、生徒の多くが文武両道を実践しています。



バドミントン部

競技を通して礼儀・マナーを身につけることを活動目標に置いています。初心者からでも楽しみながら技術をみがいていきます。



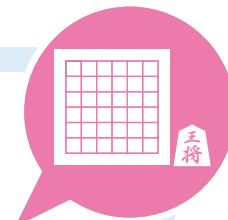
バスケットボール部

「最高の選手である前に最高の生徒であれ」を部訓に、バスケ・礼儀・学力の三位一体を目標として熱い練習に取り組んでいます。



科学部

実験や観察、フィールドワークなどを通して、日常生活に見られる事物・現象を科学の目で解明し、自然の不思議や理科の面白さを体験します。



囲碁・将棋同好会

対局中、盤上に集中することにより、脳の働きが活性化します。「礼に始まり礼に終わる」ことも学び、礼儀も自然に身につきます。



軟式野球部

野球ができることへの感謝の気持ちを大切に、チームワークと技術をみがき、中体連での勝利を目指しています。通塾生も多く、文武両道を実践しています。



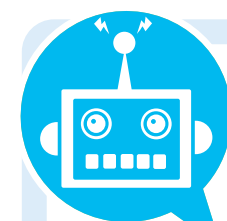
ボランティア部

「自分たちでできることから始めよう!」自分のためにそして誰かのために、中学生と高校生と一緒に楽しく笑顔で活動しています。



芸術同好会

油絵、アクリル画、陶芸などの造形活動を通して己の表現を模索しています。高校美術部と一緒に活動しているユニークな部です。



ロボット部

中1から高2までの5学年が活動し、ロボカップジュニア世界大会出場を目標にロボットの設計・プログラミングを行っています。7年連続全国大会に出場しています。



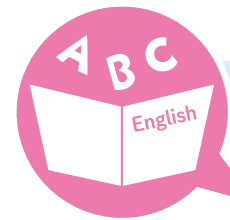
硬式テニス部

「明るく礼儀正しく」が合言葉です。大半が初心者からのスタートですが、文武両道を目指して楽しみながら練習に励んでいます。



卓球部

卓球初心者から経験者まで加入しています。チームワークや礼儀を大切に、一生懸命練習に励んでいます。



英会話同好会

ニュージーランド出身のネイティブ英語教員2名、日本人英語教員1名の計3名の教員と、日常生活、時事問題等について英語で話し合います。



写真同好会

カメラを手にしているときは一瞬のシャッターチャンスも逃がしません。撮影中は真剣そのもので、集中力が養われます。私たちと一緒に、こだわりの一枚を追求しましょう。



Campus & Facilities

JR千歳線・上野幌駅から徒歩約8分。

札幌の市街と山並みを見渡す丘の上に、近代的な設備と木のぬくもりを感じさせる、札幌日本大学中学校・高等学校の校舎があります。

学習効果を高める施設やクラブ活動を支える各種設備は、生徒たちの個性と可能性を伸ばしています。今日も開放的で自然豊かなキャンパスには、明るい声が響き渡っています。



Meeting Rooms



交流ホール

吹き抜けのおしゃれな空間。各種ドリンクの自動販売機があり、休み時には、学習、語らいの場として利用されています。



レセプションホール

式典や保護者懇談会、講演会などが開かれる多目的のホールです。円形に窓が配置されたラウンジタイプとなっています。



生徒ホール

休み時間や放課後などに、自由に利用できるスペース。生徒用玄関を入った正面にあるため、待ち合わせにも便利です。

Library



コミュニティルーム

生徒たちに人気のスポットのひとつです。自習室として、あるいは知的な憩いの場として多目的に利用されています。



専用自習室

個人ブース専用自習室と進路用資料を配置した、専用自習室を完備しています。

図書室

高校校舎と共用の図書館にはさまざまな種類の本が置かれています。閲覧スペースもあり、ゆっくりと本を読むことができます。

Life Skills



視聴覚室兼 コンピューター室

図形ソフトなどを使った数学の授業やインターネットを活用した各種授業などに使用しています。放課後は生徒に開放しています。

技術室

家庭生活や社会生活を送るために必要な「道具」を活用するための知識や方法を学びます。



家庭科室

家族と家庭の役割、生活に必要な衣・食・住について実践的・体験的な学習を行います。



理科室

論理的思考を養成するため、特に力を入れている教科のひとつが理科です。各種実験機器、設備を整えた2つの理科室を用意しています。

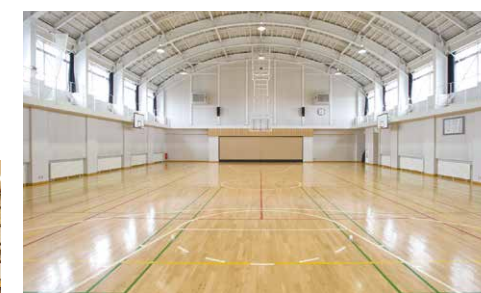


Sports



柔道場

高校生用の柔道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。



体育館(アリーナ)

お昼休みやクラブ活動の時間にたくさんの生徒が集まる体育館。広々としたつくりで思いっきり体を動かすことができます。

剣道場

高校生用の剣道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。



Career Center



進路指導室

将来の夢やなりた職業は何かなど、一人一人の希望を聞き、適性を見極める手助けをします。目標が決まったら最新の情報をもとに万全の体制を整えて、生徒の進路を全面的にバックアップします。



Uniform

制服ブランドは、コムサデモード・スクールレーベル。
制服コンセプトは「ちょっと大人っぽく、きりっとさわやか」。
清潔感があり、活動的な学生生活にフィットする動きやすさと、フォーマルな場での
清潔感あふれる着こなしを両立させたデザインが特徴です。モノトーンでまとめられた
落ち着いたイメージと、シンプルで機能性に優れた制服として生徒に評判です。



Messages

在校生からのメッセージ

同じ目標をもつ仲間と切磋琢磨

札幌日大中の良いところはたくさんありますが、その中から3つ紹介します。第一は、やはり先生がとても熱心に教えてくれるところで、放課後などの時間を使って、分らなかったことや質問したいことを快く引き受けてもらえます。二つ目は行事が多く、しかも盛大に行なわれることです。7月の学園祭(桜虹祭)、10月のスポーツフェスティバル、1年生だけの血回し大会、2月のアートフェスティバル、課題研究発表会などは、準備も大変ですがクラス全体で大変盛り上がります。三つ目は学年を超えて仲良くできる部活動です。他学年交流が多く、先輩と後輩の間に壁がないところです。

今後の目標は、札幌日大中でグローバルなことを身につけ、多くの経験を積んで、将来は生まれればかりの命を助ける「新生児科医」を目指したいと考えています。

中学2年 荒井 ひよりさん

質の高い授業と学習環境

札幌日大中の先生は、授業の合間に面白い小話を挟んでくれたり、興味深い雑学を教えてください、まったく飽きることなく授業を受けることができます。そして、授業の本題に限らず、授業中に感じた疑問について質問してもわかりやすく解説してくれます。授業後に個別に質問に行ったときも、先生方は一人一人親身になって対応してもらえます。このような先生方なので、授業を楽しく受けることができます。札幌日大中は、質の高い授業と学習環境がすばらしく、向上心をもって学習できます。

僕の将来の目標は医師になることです。学校では様々な学習の機会を提供してもらっています。医師になるためだけではなく、どのような職業にでも対応できる経験を通じて、人として成長していることを実感しています。

中学2年 大八木 啓翔さん

新入生のアンケート結果から

本校では、新入生に「入学前」と「入学後」の札幌日大中の印象についてアンケート調査を行っています。入学前に想像していたことが、入学後に大きく変化していることがわかりました。

入学前の印象

先生は怖く厳しい人がほとんどだと思っていた。

勉強が進むのが早くてついていけないイメージだった。

部活と勉強が両立できるか不安な気持ちだった。

テストが大変そうなイメージだった。

本当に学校が楽しいのか不安だった。

地味な感じの学校だった。

入学後の実感

先生はみんな優しく、わからない事があればわかるまで教えてくれるので毎日がとても楽しい。

先生方が親切にわかりやすく教えてくれるから安心。

両立が可能。自分のペースで根気強くとりくめば問題なし。

大変なことには違いない。でも、日々の積み重ねがあれば大丈夫。テストの点数が伸びればうれしい。

めっちゃ楽しい。部活、行事なども勉強と両立できる。自習室も充実。友達とも仲良くできる。

全然違った。特に学園祭では、みんながそれぞれの個性を活かして明るく楽しくやっていてとてもいいと思った。



自主創造
日本大学
NIHON UNIVERSITY

130年の輝きと共に、未来を創る。2019年創立130周年

日本大学の教育——

日本大学は、自ら考え、自ら行動し、自ら創造する「自主創造」の力を持つ人材育成をめざします。

教養教育

- 教養教育科目(総合教育科目)
 - 外国語科目
 - 保健体育科目
- などを幅広く学びます。

専門知識を理解し活用するための
高度な教養を身につける

専門領域に関する基礎知識や
学問研究の方法と姿勢を学び
問題解決能力を身につける

学科・コース・
専攻などに応じた専門科目を
段階的・系統的に学びます

専門教育

1年次

4年次(6年次)

なぜ大学で「教養」を学ぶのか

大学は、自らの関心や将来の目標に沿った専門分野の知識を身につけるとともに、社会人として、また心豊かな人間として備えるべき教養を身につけることができる学修の場です。日本大学は総合大学として、人文科学・社会科学・自然科学の幅広い学問領域を網羅する学部・学科を設置しており、学生はそれぞれの興味や将来の目標に合わせて専門分野を学ぶことができます。しかし、専門知識の理解を深め、それを他の分野と関連づけて考えたり、実社会で活用していくためには、幅広い高度な教養を身につけることが欠かせません。

日本大学では専門分野に関する基礎知識だけではなく、教養教育にも力を入れることで、日本大学の教育理念である、自ら考え、自ら道を切り開き、自ら創造できる「自主創造」の精神を持った人材の養成を目指しています。

専門分野をどのように学ぶのか

教養教育に対して、幅広い教養を基盤に専門領域に関する基礎知識や学問研究の方法と姿勢を学び、問題解決能力を身につけるのが専門教育です。「専門基礎科目」「学部共通専門科目」などの基礎的科目から、学科の専門領域そのものを学ぶ科目まで、自分の関心や将来の進路に応じて段階的・系統的に学び、専門性を深めます。

専門科目の授業は、講義だけでなく演習、ゼミナール、実験・実習など、多くが少人数形式で行われます。その授業をより豊かで実りあるものにするためには、教員の力だけではなく、学生が主体的に参加し、双方向型の対話を通して学んでいくことが大切です。学生が「自分で授業をつくる」という気概を持つことで、高校とは異なる新しい学びの喜びを体験することができます。そうして獲得した「自主創造」の力こそ、将来、社会の一員として自らの役割や使命を果たし、社会に貢献していく上で欠かせない力となります。

大学院

- | | | | | | |
|----------------|----------|------------|------------|---------|-----------------|
| ○法学研究科 | ○新聞学研究科 | ○文学研究科 | ○総合基礎科学研究科 | ○経済学研究科 | ○商学研究科 |
| ○芸術学研究科 | ○国際関係研究科 | ○理工学研究科 | ○生産工学研究科 | ○工学研究科 | ○医学研究科 |
| ○歯学研究科 | ○松戸歯学研究科 | ○生物資源科学研究科 | ○獣医学研究科 | ○薬学研究科 | ○総合社会情報研究科(通信制) |
| ○法務研究科(ロースクール) | ○知的財産研究科 | | | | |

学部・短期大学部

- | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|------|--------|----------|---------|----------|--------|
| ○法学部 | ○文理学部 | ○経済学部 | ○商学部 | ○芸術学部 | ○国際関係学部 | ○危機管理学部 | ○スポーツ科学部 | ○理工学部 |
| ○生産工学部 | ○工学部 | ○医学部 | ○歯学部 | ○松戸歯学部 | ○生物資源科学部 | ○薬学部 | ○通信教育部 | ○短期大学部 |

全国にひろがる

日本大学附属高校のネットワーク。

附属高校・中等教育学校には

日本大学への推薦入学制度もあり、
高大連携教育をはじめとして付属校各々の

「独自性」と日本大学の持つ「総合性」が結び付く等、
他にない特長があります。

日本大学高等学校・中学校
日本大学櫻丘高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校
日本大学藤沢高等学校・中学校
日本大学豊山高等学校・中学校
日本大学豊山女子高等学校・中学校
日本大学三島高等学校・中学校
日本大学明誠高等学校
日本大学山形高等学校
日本大学習志野高等学校
日本大学東北高等学校
日本大学第一高等学校・中学校
千葉日本大学第一高等学校・中学校

日本大学第二高等学校・中学校
日本大学第三高等学校・中学校
大垣日本大学高等学校
土浦日本大学高等学校
岩瀬日本大学高等学校
土浦日本大学中等教育学校
宮崎日本大学高等学校・中学校
佐野日本大学高等学校
佐野日本大学中等教育学校
長崎日本大学高等学校・中学校
長野日本大学高等学校・中学校
札幌日本大学高等学校・中学校
目黒日本大学高等学校・中学校